

調査票B 平成28年度大学等との連携ニーズ調査（大学等に実施してほしい研究・調査及び連携して取り組みたい内容）

平成28年3月現在

No.	大学等と連携して取り組みたいものの タイトル及び内容(100字程度)	実施期間 (予定)	連携形態区分	連携・協力による大学側のメリット	連携・協力による市側のメリット	連携する上での問題点	中事業名	平成28年度の 予算措置の有無	担当所管	担当者	電話 (内線)
1	【子どもの貧困に関する調査】 社会問題となっている子どもの貧困問題について、市内の実態把握を行うための調査を実施する。	未定	調査・研究	八王子市の実態調査によるデータの収集ができる。	市内の子どもの貧困の実態を把握することにより、課題が抽出でき効果的な施策を実施することができる。			無	総合経営部 経営計画第二課 子ども家庭部 子どものしあわせ課	小山	2122
2	【総合教育会議における学識経験者】 総合教育会議において学識経験者からの意見聴取	未定	意見交換	八王子の教育に対する協力姿勢の明示と、その分野における市長や教育委員との意見交換により、自らの研究等へ参考とすることができる。	総合教育会議における学識経験者としての意見聴取ができる。		総合教育会議の運営	有	総合経営部 経営計画第二課	小山	2122
3	【公共施設マネジメント 市民向け啓発資料の作成】 公共施設マネジメントの必要性を、まんが等で解説したパンフレットの作成。	6か月	その他	学生が公共施設再編問題解決のための事業に参画することで、地域活動への関心を深めるきっかけとなり、大学の地域貢献活動にもつながる。	学生自身の意見も盛り込んだわかりやすいパンフレットを作成することによって、公共施設マネジメントへの市民の理解をより深めることができる。	予算化はしていない。	行財政改革の推進	無	行財政改革部 行政管理課	高嶋	2066
4	【動物飼養における普及啓発】 講演会においては、ペットに関する防災対策など様々なテーマにて講演会講師を担っていただき、また、大学における調査・研究事項の情報提供を受け、本市の動物衛生業務に役立てる。	随時	講演・フォーラム	連携することにより、本市の動物衛生業務のあるべき姿に寄与することが可能となる。また、講演会を通じて大学の知名度が上がる。	本市の動物衛生業務における専門的な知識の習得につながり、より幅広い視点を持って業務を遂行することが可能となる。	講演会の講師としてお招きすることは、平成27年度に実績としてあるが、調査・研究事項の提供や連携について手法が確立していないため、具体的な検討が必要になる。	狂犬病予防及び動物愛護・管理	有	健康部 生活衛生課	伊東	645-5113
5	【大学生向け健康関連情報提供に関する意見交換会】 内容 保健所からの大学生向け健康情報を発信する手法や学生が望んでいる情報等について意見交換を行い、地域の健康づくりに役立てる	随時	意見交換	地域における健康課題を共有することができる	学生目線での意見等を聞き、地域における健康づくりにつなげる		なし	無	健康部 健康政策課	田上	645-5111
6	【地球温暖化対策地域協議会】 「地球温暖化対策の推進に関する法律」第26条に基づき組織し、日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等に関し必要となるべき措置等を協議する。	2日	審議会・検討会・懇談会	市内の様々な主体が連携、協力して温暖化対策を推進する組織の運営にあたり、大学関係者の立場からの意見・提案を反映することができる。	大学関係者の立場からの意見を取り入れることにより、広い視野を持って地球温暖化対策を推進することができる。	運営を委託する八王子市地球温暖化防止活動推進センターが謝礼を支払う。	環境負荷の低減	有	環境部 環境政策課	唐沢	3209
7	【空き店舗に関する研究】 中心市街地内の空き店舗に関する調査分析を通して、新たな活用方法や、まちのあり方などについて意見交換を行う。	随時	調査・研究	研究過程において、まちの生の動きを実体験できるとともに、エリアマネジメントやマーケティングの研究にも繋がる。	学生からの素直な発想により、空き店舗対策事業に新しい展開をもたらすことが考えられる。	予算化はしていない。	中心市街地の活性化	無	拠点整備部 中心市街地政策課	上奥	3774
8	【放置自転車対策についての意見交換】 大学生の視点から放置自転車対策の今後について考察してもらい、市との意見交換を行う。	1日	意見交換	まちづくり、公共政策の実務に就いている市の職員と意見を交わすことで、学生が研究を行ううえでの理解向上に繋がる。	大学生の新鮮、斬新な意見が今まで見えていなかった盲点を補填し、新しい行政サービスに繋がる。	予算化はしていない。	なし	無	道路交通部 交通事業課	松崎	3479

9	【自転車安全ルールの普及啓発のための動画作成】 大学生や大人を対象とする自転車ルール・マナーの啓発のための動画撮影を行う。	随時	調査・研究	学生の交通マナーの向上により、地域との連携が強まる。	学生や大人の交通ルールの普及啓発を行うことにより、市内の交通事故減少につながる。	予算化はしていない。 撮影スタッフ、演者及び技術などに課題。	なし	無	道路交通部 交通事業課	戸田	3473
10	【大学生・社会人向けの効果的な交通安全教育の手法研究】 大学生や大人を対象とする自転車ルール・マナーの啓発のための、効果的な交通安全教育を研究する。	随時	調査・研究	ゼミ・研究室などでの研究を基とした交通安全教育を行うことにより、地域の交通上の課題を検討でき、学生の通学時の自転車事故の減少も期待できる	学生や大人の交通ルールの普及啓発を行うことにより、市内の交通事故減少につながる。	予算化はしていない。	なし	無	道路交通部 交通事業課	戸田	3473